

プラズマローゲン（ハードカプセル）

『機能性表示食品』届出完了に伴うパッケージ変更のご案内

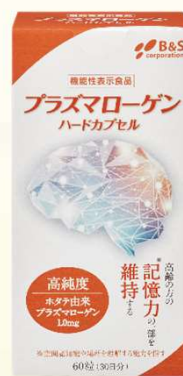
『プラズマローゲン（ハードカプセル）』は、機能性表示食品の届出完了に伴い、**2022年3月1日**発送分より**パッケージ変更製品**での納品となります。なお、成分構成などに関する品質や規格には変更はございません。製品の販促物（リーフレット・ポスター等）も併せて変更致します。

2022年3月1日以降

【現パッケージ】



【新パッケージ】



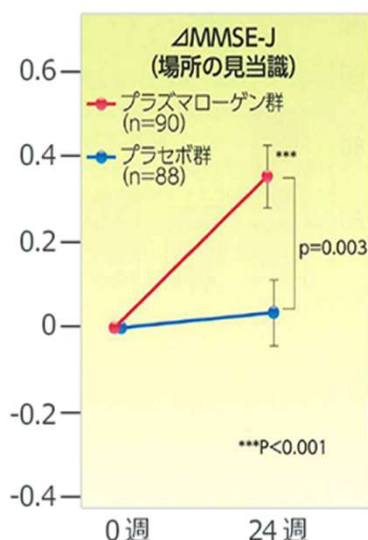
【機能性表示食品 概要】

機能性関与成分

ホタテ由来プラズマローゲン 1.0mg

届出表示 (届出番号 F628)

本品にはホタテ由来プラズマローゲンが含まれます。ホタテ由来プラズマローゲンには、認知機能の一部である、**空間認知能や場所を理解する能力といった記憶力を維持する機能**があることが報告されています。



試験対象 MCI（軽度認知障害）の成人男女178名
プラズマローゲン摂取群90名、プラセボ群※88名

試験期間 24週間

摂取量 プラズマローゲン摂取群：ホタテ由来プラズマローゲン1.0mg/日
プラセボ群※1：ホタテ由来プラズマローゲン0mg/日

※1プラセボ群：試験物質ではなく、影響の出にくい他の物質（偽薬）を摂取させたグループのこと。これにより思い込みによる影響を排除する。

摂取方法 経口摂取前と摂取24週でMMSE-J※2による検査を実施。

※2 MMSE-J：記憶力に関する指標になる認知機能検査の日本版。「場所の見当識」は、MMSE-Jの項目の1つ。

出展：Fujino et al., J Alzheimers Dis Parkinsonism 2018, 8:419より改編

※『プラズマローゲン（ソフトカプセル）』に関しては、2022年月7月以降の変更を予定しております。